

図書館情報大学実習生 実習体験記

今年は、9月10日(月)~28日(金)の3週間、図書館情報大学の学生12名が中央図書館で、図書館情報学の実習をしました。



実習生の実習風景

伊豫田 陽祐

今回、筑波大学附属図書館で実習を行い、最も自分にとってプラスになったと思えることは、今まで受けてきた授業の内容が、実際の業務に関係している、ということです。当たり前のことかもしれませんが、今までこう言ったことを実感する機会がなかったので、授業を受けていてもあまり身が入りませんでした。しかし、今回実習を通して授業で習ったことが実際の業務に生かされている事を実感し、これからの学生生活において授業に対する意識を改革することが出来ました。

(いよだ・ようすけ 図書館情報学科3年)

遠藤 夏奈子

筑波大学附属図書館での実習では、私は主に図書サービス係で実習をさせていただきました。図書サービス係ではカウンター業務の他に図書館内の整備や膨大な量の図書の管理も行っていました。増え続ける蔵書の整理や配架に人手も追いつかないようでした。図書館での業務システムや、大学図書館が抱えている問題を身近に感じ、日頃勉強している図書館情報学により一層理解を深めることができ、良い経験をする事が出来ました。本当にありがとうございました。

(えんどう・かなこ 図書館情報学科3年)

川越 名月

実習では、職場として図書館を見ることがで

き、大変よい経験になりました。目録コース・和書データベース係で、遡及入力を中心とした作業をしましたが、慎重さが必要で、責任を感じました。カウンター業務にも少し携わりましたが、学外の利用者の多さに驚くと共に、図書館の必要性も実感しました。どの係にいても、資料の扱いの難しさと、利用者への配慮が印象に残りました。丁寧な仕事が利用しやすい図書館の実現につながると思いました。

(かわごえ・なつき 図書館情報学科3年)

坂井 華奈子

図書館について学びながら、今までは実際には利用する側からしか見ていなかったものが、今回の実習を通して、サービスをする側の視点を知り、改めて図書館業務の奥深さを実感しました。授業で身につけた知識が実際に生かされている所を見るのはもちろん嬉しかったけれど、それ以上に教科書には載っていない様なことも多く、とても有意義な体験をさせていただきました。利用者の方に満足してもらえるサービスを提供するのは大変だけれどやりがいのある仕事だと思えました。

(さかい・かなこ 図書館情報学科3年)

酒井 美由紀

私が今回の実習を終えて強く感じたのは、「図書館の仕事は聞くとやるとでは大違い」ということだ。授業で図書館の仕事については大抵知っているつもりだったが、実際の作業ではそれらとのギャップに度々戸惑った。つまり、「やらなければわからない」ことを経験でき、とてもためになったと思う。これからは、この学習で学んだことを自分の将来に生かしていきたい。最後になりましたが、実習先でお世話をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

(さかい・みゆき 図書館情報学科3年)

渋谷 敬子

今回の図書館実習では、現場ならではの数々の知識を得ることが出来た。目録コースでの作業においては、後々利用においてトラブルが起こるこ

との無い様、正確なデータの作成のために、いかに慎重な作業を行なわねばならないかということ、また、洋書において各国におけるデータ記述の違い等の知識も必要だということなどを知った。

熱心に指導していただいた職員の方々、多くの貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

(しづや・けいこ 図書館情報学科3年)

白川 里美

今回の実習では、授業で得る物の他に、実際の図書館のシステムを用いての実習やセルフリーディングなど、作業の多くが実際の現場でなければ体験できないものであり、有意義なものであった。また、思っていた以上に体力勝負である事も知ることが出来た。他にもセルフリーディングなどで、本を正しい場所に戻すなど、今まで利用するだけではあまり気に留めなかった小さな点に気づくことが出来た。図書館職員はその小さな点に注意しサービスしていくことが必要であることを実感した。

(しらかわ・さとみ 図書館情報学科3年)

清井 悠祐

今回の実習では、主に雑誌のサービスについて学ばせて頂きました。当たり前のことかも知れませんが実際に体験して初めて、いかに図書館という組織が、地味な業務の一つ一つによって成り立っているかということが分かりました。セルフリーディング等の、そういった地味で大切な業務のいくつかに携わりましたが、色々体験させて頂けたお陰で毎日が新鮮で楽しかった事がとても印象に残っています。今回の実習は自分にとって非常に意義深いものでした。

(せいい・ゆうすけ 図書館情報学科3年)

長谷川 さやか

今回の実習で一番楽しみにしていたのは、電子図書館についての業務だった。これまで講義などで様々な機関の電子図書館やOPACを使い、それについての考察も行ってきたが、構築している側から見る機会がなかったのだ。

全文資料の取り込みからファイルの分割までを見学させて頂き、地道な作業が不可欠だと実感させられた。画像ファイルは、解像度を高くすると

容量も大きなものになってしまうため、これからも改善の必要があるように感じた。

(はせがわ・さやか 図書館情報学科3年)

福島 陽子

今回の実習では、主に目録に関する仕事をさせていただきました。目録作業では、利用者と接する機会はありませんが、正確な目録を丁寧に作り、利用者に図書館サービスを提供する大切な業務だと思います。利用者の立場からは、カウンター業務やレファレンス業務等しか目にする事がなかったので、図書館を運営する立場から実際の図書館現場を見ることができたことはとても貴重な体験だったと思います。職員の方々には本当にお世話になりました。

(ふくしま・ようこ 図書館情報学科3年)

山本 佳奈子

私が今回の実習で学んだことは、普段大学の授業で学んでいることが図書館でどのように役立つのかということと図書館で働くことへのやる気でした。これまでただ詰め込んできただけの知識も実習をすることでどの程度大事なことなのか分かりました。そして図書館の方々の親切で丁寧なご指導のおかげでこれまで漠然としていた司書への夢がより強いものになり、楽しく充実した3週間を送ることができました。この3週間は私の大学生活の中で大変貴重な時間であったと思います。

(やまもと・かなこ 図書館情報学科3年)

脇野 昌太郎

今回の実習で、私はカウンター周りを中心に図書館の実際の業務を体験させて頂きました。直接、図書館の利用者とふれあう機会が多かったこともあって、図書館の業務がサービス業であることを強く感じました。一方で、利用者の目に触れない仕事も体験させて頂いて、そういった仕事があった初めて図書館という組織が成り立っていることを実感しました。そして何より貴重だったのは、実際の職員の方々に現場の話を伺うことが出来たことだと思います。充実した3週間を過ごすことが出来ました。

(わきの・しょうたろう 図書館情報学科3年)